

富山県感染症発生動向速報

(2026年第17週分・4月20日～4月26日)

※2026年第18週分は5月8日(金)発行予定です。

■今週の主な動向

○感染性胃腸炎は先週から増加しました。

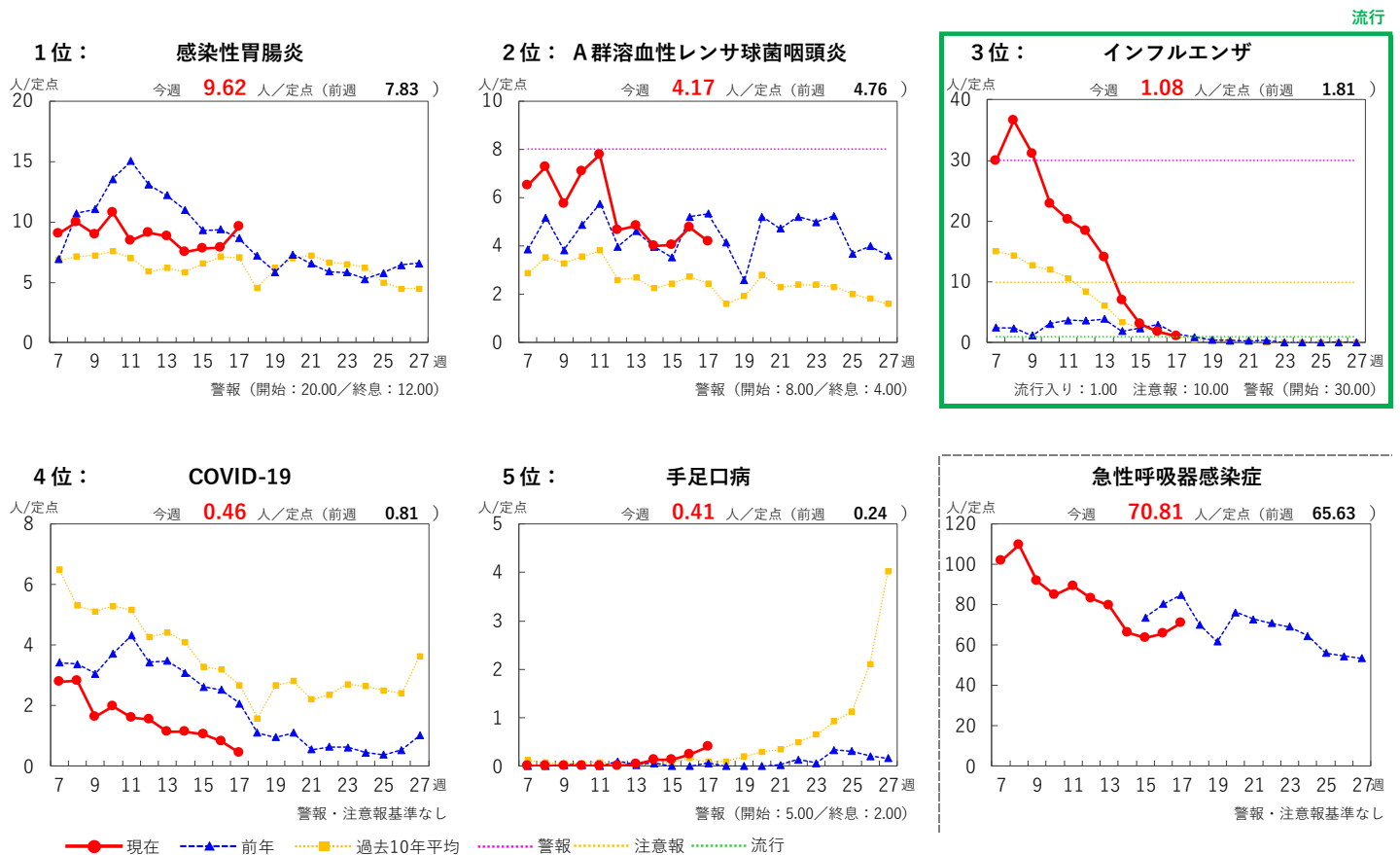
感染性胃腸炎は、嘔吐、下痢を主症状とする感染症で、ウイルスや細菌などの病原体が主に食品や手指を介して口から入ることによって感染します。感染予防のため、トイレの後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。(第14週インフォメーション参照)

○インフルエンザは減少傾向が継続しています。

インフルエンザの報告数は今週 1.08 人/定点となり、先週 (1.81) から更に減少しました。引き続き、手洗いや咳エチケット、換気などの基本的な感染対策を心がけましょう。(インフルエンザの疫学所見、第9週インフォメーション参照)

■定点報告の感染症

今週の富山県内上位5疾患+急性呼吸器感染症 (第17週・4/20～4/26)

厚生センター(保健所)管内別、直近の推移: <https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#a-6>

■全数報告の感染症

二類感染症 結核 4件 (①②共に20歳代、男性 ③30歳代、男性 ④60歳代、男性)

五類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 (90歳以上、男性、B群)

梅毒 2件 (①20歳代、女性、早期顕症梅毒Ⅱ期)

(②30歳代、女性、早期顕症梅毒Ⅰ期)

破傷風 1件 (80歳代、男性)

富山県感染症情報センター(富山県衛生研究所内)

TEL: 0766-56-5431(直通) HP: <https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/>



野外で活動する際は ダニにご用心！

《 インフォメーション 》

●ダニが媒介する感染症

野外に生息するダニ（ツツガムシやマダニ）は春から秋にかけて活動が活発になります。人が農作業やレジャー等の野外活動でダニに刺された場合、そのダニが病原体を保有していると、感染症を発病することがあります。

国内で発生する可能性があるダニが媒介する感染症には、ツツガムシ病、日本紅斑熱、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）、ライム病などがあります（表参照）。発病初期は発熱などの風邪様症状を示しますが、重症化すると死に至ることもあります。これまで、日本紅斑熱、SFTS の患者は西日本を中心に報告されていましたが、2025年には東日本でも相次いで SFTS 症例が報告されています。今後、ますます全国に拡大する可能性があります。

疾患名	病原体	潜伏期間	症状及び所見	治療法	県内（全国）の患者報告数			
					2023年	2024年	2025年 ^{※3}	2026年 ^{※4}
ツツガムシ病	ツツガムシ病リケッチア <i>Orientia tsutsugamushi</i>	5～14日	発熱・発疹・ダニの刺し口	抗菌薬投与 ^{※1}	2 (445)	1 (354)	0 (295)	0 (37)
日本紅斑熱	日本紅斑熱リケッチア <i>Rickettsia japonica</i>	2～8日	発熱・発疹・ダニの刺し口	抗菌薬投与 ^{※1}	1 (500)	0 (523)	0 (675)	0 (12)
SFTS	SFTSウイルス	6～14日	発熱・消化器症状 血小板減少・白血球減少	対症療法 抗ウイルス薬投与 ^{※2}	0 (134)	0 (122)	1 (191)	0 (16)
ライム病	ライム病ボレリア <i>Borrelia bavariensis</i> など	3～32日	遊走性紅斑・発熱 神経症状・関節炎	抗菌薬投与 ^{※1}	0 (28)	0 (25)	0 (18)	0 (0)

※1 テトラサイクリン系等 ※2 ファビピラビル(アビガン®) ※3 2026/3/21時点での暫定値 ※4 富山県 第17週時点、全国 第16週時点

県内の感染事例について、ツツガムシ病は近年0～2例/年、日本紅斑熱は2023年に初めて1例確認されています。SFTSは2022年にイヌ2頭、ヒトで初めて確認され、2025年6月にヒトの2例目、同年8月にはネコ1頭で確認されました。また、県内で捕獲された野生イノシシのSFTSウイルスの抗体陽性率は増加傾向であり（[2025年9月16日報道発表](#)）、県内の野山でSFTSウイルスを保有するマダニに刺されるリスクが増加していると考えられます。**野外で活動する際は、ダニに刺されないための対策が必要です。**以下のことに注意しましょう。

- ① 草むらなどに入るときには、長袖、長ズボン、手袋などを着用し、肌の露出を少なくしましょう。
- ② 服の上や肌の露出部分に、ダニ忌避剤（ディート、イカリジン）等を使用しましょう。
- ③ 地面や草むらに直に寝転んだり、腰を下ろしたり、服を置いたりするのはやめましょう。
- ④ ダニに刺されても、痛みや痒みはあまりなく、気づかないことが多いようです。
野外で活動した後は、すぐに入浴し、ダニに刺されていないかを確認しましょう。
特に、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏、胸の下、頭部（髪の毛の中）などがポイントです。
- ⑤ 皮膚に吸着しているダニを無理に引き抜こうとすると、ダニの一部が皮膚内に残ってしまうことがあるので、医療機関（皮膚科等）で取ってもらいましょう。
- ⑥ ダニに刺された後、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状が認められた場合は医療機関を受診しましょう。その際、ダニに刺されたことを伝えましょう。

参考：[富山県、ダニに注意しましょう](#) [富山県、マダニが媒介する重症熱性血小板減少症候群\(SFTS\)](#)



○感染症発生動向調査報告状況（2026年第17週 2026年4月20日～2026年4月26日）

分類	疾患	今週報告分（第17週）						累積報告数（2026年第1週（2025年12月29日）～）					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核					4	4	1		8	2	19	30
	（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く					3	3	1		3	2	11	17
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症											1	1
四類感染症	E型肝炎								1				1
	レジオネラ症							1	1	2	1	3	8
五類感染症	急性脳炎							1				1	2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症					1	1			1	1	4	6
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									1		2	3
	侵襲性肺炎球菌感染症							2		4	1	4	11
	水痘（入院例）							1				1	2
	多剤耐性緑膿菌感染症											1	1
	梅毒			1		1	2	2	2	4		8	16
	破傷風					1	1					1	1
	百日咳							1				7	8
	急性呼吸器感染症（ARI）定点 （48定点）	急性呼吸器感染症（※1）	198	282	1,142	284	1,493	3,399	6,068	5,529	19,303	5,616	24,551
		28.29	56.40	87.85	40.57	93.31	70.81						
インフルエンザ		2	6	17	13	14	52	1,433	1,198	3,333	1,422	4,622	12,008
		0.29	1.20	1.31	1.86	0.88	1.08						
COVID-19	4	2	1	4	11	22	266	136	247	132	470	1,251	
	0.57	0.40	0.08	0.57	0.69	0.46							
小児科定点 （29定点）	RSウイルス感染症	1		1	2	5	9	23	9	84	22	84	222
		0.25		0.13	0.50	0.50	0.31						
	咽頭結膜熱	1	1	5			7	26	10	117		51	204
		0.25	0.33	0.63			0.24						
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	15	51	6	46	121	94	134	1,040	169	951	2,388
		0.75	5.00	6.38	1.50	4.60	4.17						
	感染性胃腸炎	26	16	28	13	196	279	463	368	848	205	2,262	4,146
		6.50	5.33	3.50	3.25	19.60	9.62						
	水痘			2		4	6	3	10	25	7	74	119
				0.25		0.40	0.21						
	手足口病		3	7	2		12		14	13	2	1	30
			1.00	0.88	0.50		0.41						
	伝染性紅斑	1		2			3	7	3	15	4	10	39
		0.25		0.25			0.10						
突発性発しん			3		3	6	5	12	42	11	39	109	
			0.38		0.30	0.21							
ヘルパンギーナ							13					3	16
流行性耳下腺炎	1					1	2					5	7
	0.25					0.03							
眼科定点 （7定点）	流行性角結膜炎							7	1	1			9
基幹定点 （5定点）	細菌性髄膜炎											1	1
	マイコプラズマ肺炎							8		2	2	3	15
	クラミジア肺炎										2		2
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）									1	1		2
入院サーベイランス （5定点）	インフルエンザによる入院患者（※2）					1	1	55	41	49	40	100	285
	COVID-19による入院患者	1	1			3	5	16	14	7	10	55	102

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 急性呼吸器感染症は2025年第15週（4/7～）より開始しました。（参考：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/topics/ari/>）

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2025年第36週（9/1～）の集計です。

インフルエンザ情報（富山県の型別患者報告状況）

このデータは、定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

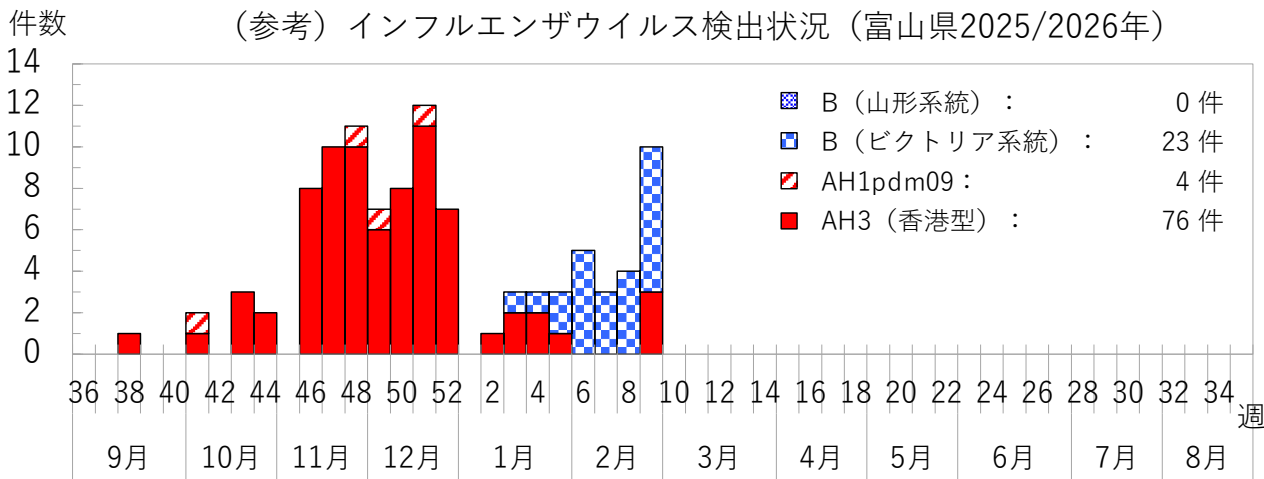
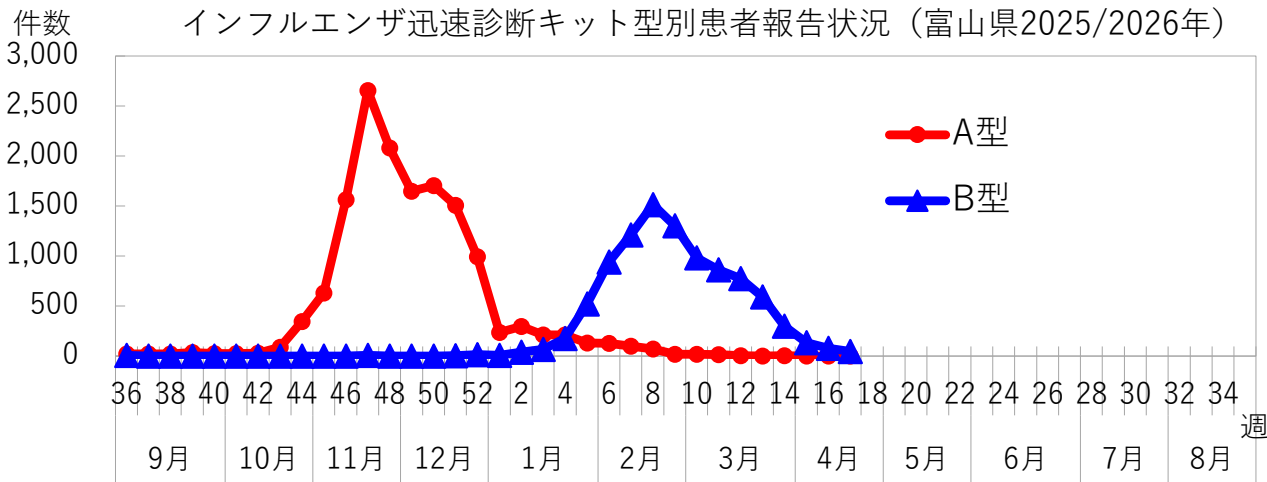
現在、下の表によると、B型が86.5%となっています。

第17週（4/20～4/26）：富山県 1.08人/定点 （単位：件）

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	1 / 7	0	2	0	2
中部	2 / 5	0	6	0	6
高岡	8 / 13	2	12	3	17
砺波	7 / 7	0	12	1	13
富山市	6 / 16	0	13	1	14
富山県	24 / 48 ^{※1}	2	45	5	52
富山県累計（2025年36週～）		14,854	9,602	2,168	26,624

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が24か所あったことを示します。

※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



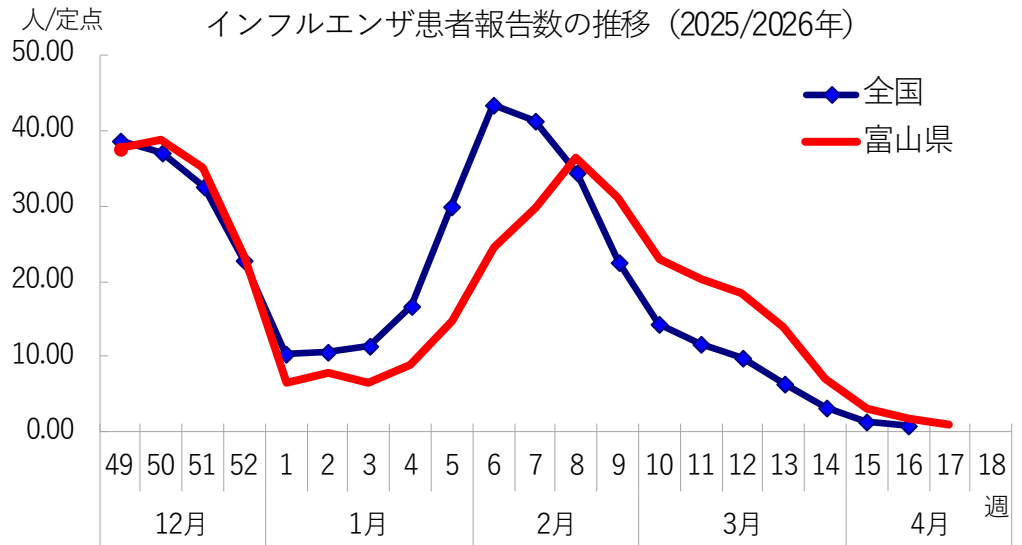
インフルエンザ情報（全国、富山県の患者報告状況）

● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況 第17週（4/20～4/26）

富山県 1.08人/定点 [新川（0.29）、中部（1.20）、高岡（1.31）、砺波（1.86）、富山市（0.88）]

今週の県内の患者報告数は、1.08人/定点となり、先週（1.81）より減少しました。

インフルエンザ患者報告数の推移（2025/2026年）

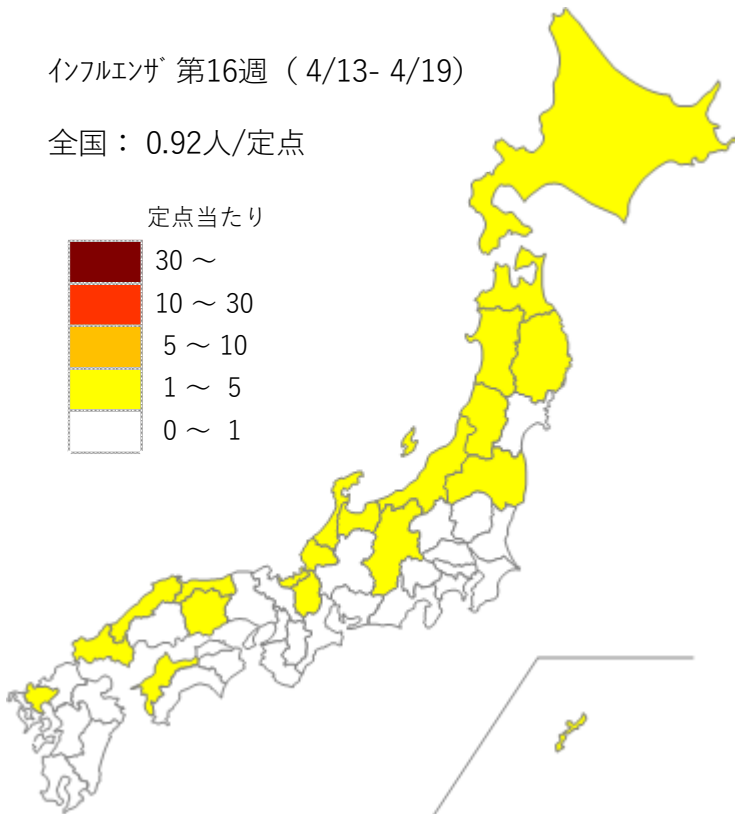
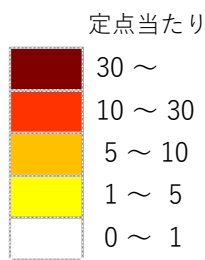


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第16週（4/13～4/19）

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 0.92 人となり、前週の 1.46 人より減少しました。44 都道府県で前週より減少しています。

インフルエンザ 第16週（4/13- 4/19）

全国：0.92人/定点



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	2.79 ↓	滋賀県	1.13 ↓
青森県	1.31 ↓	京都府	0.89 ↓
岩手県	1.40 ↓	大阪府	0.48 ↓
宮城県	0.91 ↓	兵庫県	0.83 ↓
秋田県	1.60 ↓	奈良県	0.69 ↓
山形県	4.68 ↑	和歌山県	0.67 ↓
福島県	1.35 ↓	鳥取県	1.48 ↓
茨城県	0.60 ↓	島根県	1.40 ↓
栃木県	0.72 ↓	岡山県	1.44 →
群馬県	0.62 ↓	広島県	0.90 ↓
埼玉県	0.45 ↓	山口県	1.15 ↓
千葉県	0.68 ↓	徳島県	0.88 ↓
東京都	0.52 ↓	香川県	0.57 ↑
神奈川県	0.66 ↓	愛媛県	1.27 ↓
新潟県	1.89 ↓	高知県	0.16 ↓
富山県	1.81 ↓	福岡県	0.62 ↓
石川県	2.11 ↓	佐賀県	1.08 ↓
福井県	1.33 ↓	長崎県	0.63 ↓
山梨県	0.23 ↓	熊本県	0.70 ↓
長野県	1.80 ↓	大分県	0.31 ↓
岐阜県	0.73 ↓	宮崎県	0.43 ↓
静岡県	0.42 ↓	鹿児島県	0.46 ↓
愛知県	0.58 ↓	沖縄県	3.48 ↓
三重県	0.36 ↓	全国	0.92 ↓

